

令和元年度 第3回桐生市総合戦略推進委員会 議事要旨

○日 時 令和元年10月31日(水) 午後6時30分～午後8時10分

○場 所 桐生市総合福祉センター 101会議室

○出席者

【委員】 委員長：桐生市総合計画審議会会長職経験者 宝田 恭之
副委員長：桐生商工会議所 会頭 山口 正夫
委員：桐生商店連盟協同組合 副理事長 茂木 理亨
桐生広域森林組合 総括課長 栗原 和人
群馬県桐生みどり振興局 局長 大嶋 亘
桐生商業高等学校 教諭 進路指導主事 関口 恵美
桐生信用金庫 専務理事 佐藤 敏彦
足利銀行 桐生支店長 海老沢 智
群馬銀行 桐生支店長 小金沢 啓人
桐生公共職業安定所 所長 小林 悟
㈱桐生タイムス社 事業推進室長 小澤 義明
桐生市社会福祉協議会 常務理事 前原 太
きりゅう市民活動推進ネットワーク 代表 近藤 圭子
NPO法人キッズバレイ 代表理事 星野 麻実
桐生市PTA連絡協議会 会長 野村 篤
桐生市医師会 鈴木 康郎
桐生市婦人団体連絡協議会 会員 齋藤 優子
2015年からの生活交通をつくる会 会長 佐羽 宏之
<欠席者>
桐生市農業委員会 会長 鎌塚 大作
桐生刺繍商工業協同組合 理事長 村田 欽也
群馬大学理工学部 教授 板橋 英之
桐生市区長連絡協議会 第3区長 茂木 新司
桐生青年会議所 専務理事 深澤 佑太

【桐生市】 副市長 森山 享大
<事務局>
桐生市総合政策部長 和佐田 直樹
桐生市総合政策部企画課長 田島 規宏
桐生市総合政策部総合戦略推進担当係長 金子 秀明
桐生市総合政策部総合戦略推進担当 馬場 秀穂
桐生市総合政策部総合戦略推進担当 伊藤 美和子

【報道関係】 1社

○会議内容

1 開 会

- ・過半数以上の出席により、会議が成立することを案内

2 挨 拶

- ・市長挨拶

3 議 題

- (1) 第2期 桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について
- (2) そ の 他

○議事概要

- (1) 第2期 桐生市まち・ひと・しごと創生総合戦略（案）について
 - ・資料1、参考1、2に基づき、事務局から説明

<意見交換：基本目標1>

委員	(3) 農林業の活性化について、施策の名称は「林業後継者の育成」となっているが、指標名は「林業従事者数」となっている。どのように使い分けているのか。
事務局	「林業従事者数」については、群馬県調査に基づく人数となっており、組合に所属する者や、林業家が含まれている。この林業従事者数を維持していくことを目的とすることを指標に設定した上で、林業後継者を育成・確保していくことを施策としたものである。名称を揃えた方が良いかどうかについては、検討してまいりたい。
委員	第3回会議資料の「林業従業者数」の数値と異なるのは何故か。
事務局	前回会議において資料にあった「林業従業者数」の数値については、現総合戦略の策定時に梅田に桐生木材ヤードを整備していくことの構想があったため、桐生広域森林組合の従事者数を指標とした。今般は次期総合計画との整合性というところから、市全体の林業従事者数を指標としたものである。
委員	中心市街地の活性化について、現総合戦略の策定の際にもお願いしたところであるが、桐生の顔である中心市街地のビルが建設されてから半世紀を過ぎ、老朽化も進み、今後は解体も必要となっている。 様々な施策を位置付ける上で、ある程度総花的な計画にならざるを得ないとは思いますが、中心市街地を具体的にどうするかなど、主だった施策だけでも、もう少し具体的な内容にすべきではないか。
事務局	まず、総花的という点については、総合計画は、幅広い分野で構成されているため、総花的にはならざるを得ない部分はあるが、人口減少対策や地方創生に関する

	<p>取り組みを進めるに当たり、推進委員会からの意見や桐生市総合計画審議会での議論を踏まえ、総合戦略として重点的に取り組むべき施策を総合計画の中から厳選し、体系化したものである。</p> <p>現在、市では、予算編成を行っているところであるが、総合戦略が策定された後に、これらの施策に基づく具体予算事業の内容については、実施計画に位置付け、本委員会に示してまいりたい。</p> <p>ただいま意見のあった「魅力ある商店づくり」における中心市街地についての取り組みについては、担当部局に伝えた上で、具体的な検討をしてまいりたい。</p>
委員	<p>次期総合戦略を推進していくに当たり、1点反省してもらいたい点がある。現総合戦略の策定後、市では国の交付金を活用したIT関係の新たな事業を開始したが、推進委員会への事前説明が不足していたと考えるので、改善してほしい。貴重な財源を投入するものであるため、しっかりと計画立て、推進委員会に事前説明の上、実施してもらいたい。</p>
事務局	<p>事前説明が不足していた点については、地方創生加速交付金を活用したアプリの開発等の取り組みのことであるが、説明が不足していた点については、事務局として反省している。</p> <p>このため、新たに地方創生推進交付金を活用した取り組みを始める際には、本委員会に報告を行っているところである。今後についても、可能であれば会議を開催し、意見を伺いたいと考えるが、時間的都合等で会議開催が難しい場合については、何らかの方法で報告して進めてまいりたい。</p>
委員長	<p>先ほどの説明にあった実施計画については、いつぐらいに本委員会に示され、議論を行うことができるのか。また、その内容を変更することはできるか。</p>
事務局	<p>予算が固まった後に示すことができるため、早くても3月か4月頃になると考えられる。</p> <p>なお、そのときに示す実施計画については、これまでの意見を可能な限り反映した予算編成を行い、その結果として作成したものとなる。</p> <p>このため、基本的には内容についての議論を行うものではなく、報告ということになるが、そこで具体的な意見があれば再度検討してまいりたい。</p>
委員長	<p>ここにいる様々な分野の委員から計画の作成段階で意見を聞き、反映していくことは有益であり、みんなで考え、企画することがコミュニティを強くしていくと考えるので、配慮してもらいたい。</p>

<意見交換：基本目標 2>

意見なし

<意見交換：基本目標 3>

委員	(3) 特色ある教育の充実の①の取り組み内容に“学校・地域との連携”とあるが、具体的な取り組みを想定した内容であるか、それとも漠然とした内容のものであるか。
事務局	具体的な事業名では、現在、市内数か所の公民館で実施している「放課後子供教室」を想定したものである。取り組みの実施に当たっては地域の方が講座の講師になるなど、地域と連携しながら実施しており、この取り組みを広げてまいりたいと考えているものである。
委員	少子化等により、中心市街地にあるほとんどの小学校で、学年に1クラスしかない状況となっており、こうした状況で特色ある教育ができるのかが危惧される。 また、市外から桐生市に移住を考える人がこの実態をみたときにどう考えるのか。こうしたことも大きな課題であるので、きちんと検討してほしい。
事務局	少子化に伴う学校の小規模化への対応ということであるが、今般の総合戦略への位置付けは行っていないが、本市の最上位計画である総合計画において、「学校適正配置の推進」を位置付けており、市有施設の総合管理という観点からも適正配置、適正規模について検討していかなければならない課題であると考えている。
委員	5年の計画を立てるに当たっては、具体的な目標を数値化していかないと目標にならないと考える。個々のKPIについては、相当な根拠をもって組み立てているとは思いますが、第三者に伝わりにくい。指標に“満足度”を設定しているが、どのように測るものなのか。
事務局	指標にある“満足度”については、毎年各学校で実施しているアンケート調査の結果であり、この満足度を向上していくことを目標としたものである。 KPIについては、各施策の方向の下に位置付ける施策の進捗状況を測るための主な指標となっており、基準値を基に設定した。なお、本日の資料では空欄としてあるが、各基本目標に位置付ける数値目標が究極的な目標となり、重要な視点になる。これまでの意見等を踏まえ、次回会議において提案するので、意見をお願いしたい。
委員	(4) 教育研究・相談機能の充実では、KPIの基準値がハイフンとなっており、目標が上矢印となっているが、どうしてか。

	<p>また、指標の「「特色ある教育活動」が行われていると感じる保護者等の割合」と「児童・生徒の授業に対する満足度」について、アンケートの対象者は具体的には誰なのか。</p>
事務局	<p>K P I に設定した「教職員を対象とした各種研修講座の満足度」については、総合計画の策定に当たり指標を検討し、本年度から実施することとしたため、基準値が示せなかったものである。また、アンケートに基づき評価を行う指標については、毎年上昇させていくことを目標としており、統一して上矢印としている。</p> <p>また、アンケートの対象者等については確認し、次回会議で説明したい。</p>
委員	<p>(3) 特色ある教育の充実について、各学校には教育方針のようなものがあるかとは思いますが、桐生市がどんな子どもを育てたいのかといった、そういう観点の記載が不足していると考えます。</p> <p>このため、施策の「1. 桐生ならではの特色ある教育の充実」と「2. 学校・地域との連携の推進」について、例えば“感性を育てる”など、桐生市ではどのような子どもを育成するのか、どのような能力を育てるのか、といった観点を追記してほしい。未来創生塾には感性や人間性を育むといった理念があると思うが、取り組みを知らない人には、市がどのような目的で実施しているのかが分かりにくいと考えます。</p> <p>また、市では、そうした教育目標のようなものは別に策定があるのか。</p>
事務局	<p>まず、教育目標については、市長と教育委員会で設置する「総合教育会議」において、桐生市の教育大綱を定めており、どのような子どもを育てるのか、どのような教育を行うのかといったものが掲げられている。その中では、桐生を好きな子どもを育てるといったことが、大きなテーマとなっている。</p> <p>また、ただいまの意見については、(3) 特色ある教育の充実の記載内容において、検討してまいりたい。</p>
委員	<p>教育大綱と総合戦略の役割の違いや、位置付けはどのようなものとなるのか。</p>
事務局	<p>本市の最上位計画となるのは、総合計画であり、総合戦略については、人口減少対策や地方創生に特化した計画となっている。また、教育大綱については教育内容全般に関する施策を盛り込んだものとなり、それぞれ役割が異なるものというところで理解してもらいたい。</p>
委員長	<p>次期総合計画の将来都市像では“感性を育み”という言葉を用いているので、そうした言葉を使用するなど検討してもらいたい。</p>

<意見交換：基本目標 4>

委員	<p>(1) 安全・安心で住みやすい環境づくりの「1. 地域防災力の向上」に関連して、渡良瀬川の右岸については、数年前に補強されたようであるが、左岸についてはまだされていないようである。</p> <p>ハザードマップでは、渡良瀬川の左岸にある災害時に機能すべき市役所、消防署、警察、厚生病院などが浸水地域となっている。災害時にこの地域にある公的施設が機能しないと大変な問題であり、優先順位が高い課題であると考えため、堤防の補強等について関係機関等への働きかけを行ってほしい。</p>
事務局	<p>まず、堤防の補強等に関する要望等の働きかけについては、事実確認を行い、次回報告したい。</p> <p>なお、市役所周辺の公共施設について、市の管理が及ぶものとそうでないものはあるが、市役所の庁舎については、建替えに関する方針の中に、水害対策を踏まえた整備を行うこととしている。</p>
委員	<p>建替えたとしても位置が現在の場所であるとする、他の機関も含め浸水地域であることには変わらない。堤防の補強等の方が優先順位は高いと考えるので、国等への要望についてしっかりと行ってほしい。</p>
副市長	<p>渡良瀬川河川敷の利活用も含め、市民の方々の意見をまちづくり懇談会やミーティングを実施するなどして聞きながら、国会議員や市選出の県議会議員を通じ、国土交通省などの関係機関への要望活動を強化してまいりたい。</p>
委員	<p>地球の温暖化に起因すると考えられる台風をはじめとする気象災害が増えており、来年度以降も今般の台風のような被害が出るのが懸念される。市庁舎の建替え位置について、浸水被害が想定される現在位置に建て替えるのでは意味がないと考えるので、再検討してほしい。</p>
委員	<p>次期の総合戦略には、桐生厚生総合病院や救急医療に関する取り組みの記載がないがどのような位置付けとなっているのか。</p>
事務局	<p>厚生病院や救急医療に関する内容については、総合計画の地域医療の充実に位置付けており、「桐生厚生総合病院の機能の充実」については、総合戦略には位置付けていないが、総合計画の中で取り組む重点施策として位置付けている。</p>
委員	<p>先日の台風 19 号の際の対応について、情報収集のため、市では防災ラジオを有償頒布しているが、山間部でも受信ができるよう改善してほしい。また、避難所に遅い時刻に避難したところ、毛布やマット等の物資が不足していたので、改善</p>

	してほしい。
事務局	<p>防災ラジオについてはFMきりゅうの協力の下で販売を始め、少しでも多くの場所で受信できるよう改善を図っているが、地形の問題や建物の配置状況により聞こえにくい場所が出てしまうというのが実態である。防災情報の入手手段は様々あり、携帯電話を持っていればエリアメールで受信できるが、携帯電話を持っていない方もいる。</p> <p>そのため、可能な限り情報を伝達できるよう、新里地区や黒保根地区には整備されている防災無線が 2022 年にはアナログ方式からデジタル方式に変更となることから、桐生地区も含めその導入の検討を進めている。また、津波の被害が想定される自治体で整備されている屋外のスピーカーの設置なども検討しているところである。</p> <p>そうした、情報伝達に関する様々な手法を検討するとともに、市民の方々にはテレビやラジオなど、様々な手段から情報を入手してもらおうよう、周知してまいりたい。</p>
委員	避難所に入る際、雨の中、入口で避難者に氏名を記帳させていたと聞いたので、運用を改善してほしい。
委員	避難所へのペットの連れ込みの問題や小さい子どもや高齢者がいる家庭において、やむを得ず車で避難する場合の駐車場の問題について、対応を検討してほしい。
事務局	今般の台風 19 号に関する対応については、様々な意見が寄せられているところである。今般の対応を検証し、様々なところで改善を検討してまいりたい。
委員	<p>(3) 地域連携の推進と交通基盤の整備について、まず全体的な意見ではあるが、現在のまちの姿は、市民が目先の利便などを考えた結果である。市民のあれもこれもといった要望に応えるにも、人的資源や財源に限りがある。市民の要望を聞く際には、その要望に対する市民の役割についても併せて理解してもらうことが重要である。</p> <p>また、地域の住民自らが何を行うのかといった役割を地域の資本としてとらえ、地域関係資本の充実を図ることが、今後のまちづくりを進めて行く上で重要である。</p> <p>そうした中で“両毛広域都市圏内市町と緊密な連携”とあり、施策の「4. 鉄道利用の促進」や「5. バス交通網の充実」にも関連するが、各自自治体と同じ方向を目指しているのか。</p> <p>単独の自治体で沿線地域や駅周辺の活性化策を目指すことは持続可能ではない</p>

	<p>ので、各自治体が同じ方向を向いた取り組みを推進できるよう、取り組んでほしい。</p>
副市長	<p>現在、みどり市とは、「桐生・みどり未来創生会議」を設置し、桐生・みどり地域のあり方を共同で研究し、両市民がより暮らしやすい地域となるような取り組みについて意見交換を行っている。また、市内を走る4鉄道に関しては、沿線地域の市町村などから構成される協議会等で活性化策を検討しているところである。</p> <p>今後についても、群馬県や沿線市、関係機関等と協議し、同じ方向を向いた取り組みが推進できるよう連携してまいりたい。</p>
委員	<p>(2) 将来を見据えた計画的なまちづくりのKPIに「公共施設等総合管理計画の類型別に策定する個別計画策定数」とあるが、桐生市は他の自治体と比べると公共施設の延べ床面積が多いことが課題となっていると思うが、指標が計画策定数となっている。どのような考えか。</p>
事務局	<p>本市の延べ床面積については、類似団体と比較すると1.8倍程度多くなっており、今後35年間で延床面積を45%縮減することを掲げている。</p> <p>その面積を縮減していくに当たり、施設類型ごとに計画を策定する必要があることから、その計画数を設定したものであるが、補足説明がないため改善し、次回会議で示してまいりたい。</p>
委員	<p>延べ床面積の縮減が目標値にあるのであれば、その面積を設定することが分かりやすいと考えるので、検討してもらいたい。</p>
委員	<p>中心市街地の件については、10年以上前から要望しているが、話し合いの場が持たれていない。今般の戦略に記載された内容が進むよう、是非ともお願いしたい。</p>
委員	<p>平成30年6月に桐生商工会議所と桐生商店連盟協同組合から「桐生市中心市街地活性化基本計画の策定並びに中心市街地活性化協議会組織化に向けての要望」を提出してあるので、検討してほしい。</p>
委員	<p>“商工会議所や商店連盟など”とあるが、意見交換をする際には、市街地に行かない人や行きたくない人の考えを聞くことも重要である。意見を聞く人を誤ると、間違った方向の検討が進んでしまうので、留意が必要である。</p>

事務局	取り組みが推進されるよう、ただいまの意見を担当部局に伝えてまいりたい。
-----	-------------------------------------

(3) その他

<意見交換>

委員	桐生公共職業安定所等の“等”について、どこか具体的な連携機関を想定しているのか。また、“情報提供”、“マッチング”について、市はどのような取り組みを行うのか。
事務局	記載内容について、確認し、次回会議で説明したい。
委員	新里町の「すぎの子幼稚園」は市内外から人気のある幼児教育を行っている。また、太田市にあるぐんま国際アカデミーでも特色のある英語教育を実施し、人気である。こうした特色ある教育が、人口減少対策に繋がると考えるので、取り組んでほしい。
委員	本委員会をはじめ様々な意見を聴取しながら総合戦略を策定し、新たな取り組みを推進することも大事であるが、そのことに伴いこれまでの取り組みをやめることも重要である。 また、桐生を好きな子どもを育てるといった理念は非常に重要であるが、桐生から出て行った後に他の地域の魅力に負けてしまわないよう、桐生だけを好きになってもらえるよう工夫した取り組みが重要であると考えます。

以 上

4 その他

- ・宝田委員長から11月23日開催の「未来の環境～食と健康の集い～スローモビリティを活用した「ゆるリズムのまち桐生」の宣言に向けて」のシンポジウムについて紹介
- ・近藤委員からきりゅう市民活動推進ネットワークが地域ESD活動推進拠点に登録されたことについて説明

5 閉 会